

40年以上の歴史を持つ『第41回全国きき酒選手権大会』を3年ぶりに開催 個人の部・香川県代表として有村 和彦さんが初優勝 団体の部・熊本県が初優勝 大学対抗の部・千葉大学の男性ペアが優勝



個人の部優勝の香川県有村さん



大学対抗の部優勝/千葉大学 中沢さんと山田さんのペア



団体の部優勝の熊本県 小松さん・藤川さんのペア



左よりおちょこくん、団体の部優勝の熊本県のペア、 個人の部優勝有村さん、中央会・佐浦副会長、協賛のJA桑原課長さん

全国約1,700の酒類(日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん)メーカーが所属する日本酒業界最大の団体である日本酒造組 合中央会(以下、中央会)では、40年以上の歴史を積んできたアマチュアのきき酒日本一を決める『第41回全国きき酒選手 権大会』(以下、きき酒選手権大会)を10月21日(金)にリーガローヤルホテル東京で開催しました。

きき酒選手権大会は、日本酒の魅力や文化を幅広く知ってもらうことを目的に、1981年より開催され、今年で41回目となる歴 史のある大会。今年は32都道府県の代表選手、計66名が参加する「個人の部」と各都道府県の代表2名の合計点で競い合 う「団体の部」が、それぞれアマチュアきき酒日本一の座をかけて競い合いました。「個人の部」優勝は香川県代表として初優勝と なった有村和彦(ありむら かずひこ)さんが、見事アマチュアのきき酒日本一に輝きました。有村さんは「嬉しいです!今後も日本 酒を飲み続けます」と満面の笑みを浮かべていました。一方「団体の部」は、小松 益美 (こまつ ますみ) さんと藤川 美奈子 (ふじ かわ みなこ)さん女性ペアのお二人で、熊本県としては初の優勝となりました。小松さんは「熊本県にどっては初めての優勝なので 感無量です! と喜びを噛みしめていました。

また、「大学対抗の部」(8大学20名)では、千葉大学の中沢 紀(なかざわ おさむ)さんと山田 陽太(やまだようた)男性ペ アが優勝しました。

〈大会結果〉※敬称略

個人の部:優勝 有村和彦(香川県)/準優勝 工藤美香子(東京都)/第3位 藤川美奈子(熊本県)

団体の部:優勝 熊本県/準優勝 山形県/第3位 香川県

大学対抗の部:優勝 千葉大学/準優勝 早稲田大学/第3位 佐賀大学





きき酒競技の様子

<「全国きき酒選手権大会」について>

日本酒の味や文化を幅広い方に知っていただくことを目的に、1981年にスタート。年齢・性別・国籍を問わずアマチュアを対象とし(未成年者及び酒類関係者を除く)、各都道府県の代表者が、日本酒に関する筆記試験と、7種類の日本酒について味や香りを確かめながら判別する「きき酒」を実施し、日本一を競います。

〈審査の基準〉

審査の基準は、「筆記試験」と「マッチング法」の2種類。筆記試験は、中央会が監修の日本酒好きでも即答が難しい問題になっています。多種多様な表情を持つ日本酒を見極め、精緻な分析力が欠かせないマッチング法は、7種類の酒質(純米吟醸酒、大吟醸酒、純米酒、本醸造酒、生酒、低アルコール酒、普通酒)を色や香り、味わいからきき分け、好みの順位をつけます。さらにもう一度きき酒し、1回目につけた順位と照合。整合性が取れているほど、点数が低くなります。

<日本酒造組合中央会について>

全国約1,700社の酒類(日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん)メーカーが所属する日本酒業界最大の団体。酒類業界の安定と健全な発展を目的とし、1953年に設立。「國酒(こくしゅ)」とされる日本酒、本格焼酎・泡盛について情報発信することで、国内外へ幅広く認知向上させる活動に取り組んでいる。

https://japansake.or.jp/common/

く『第41回全国きき酒選手権大会』概要>

正式名称	第41回全国きき酒選手権大会
開催日時	2022年10月21日(金)12:00~18:00
場所	 リーガロイヤルホテル東京 3F メイン会場「ロイヤルホール」 きき酒競技「クリスタルI」
主催	日本酒造組合中央会
協賛	全国農業協同組合連合会
内容	1)開会式・競技説明 2)筆記試験 3)きき酒競技 4)採点・プレーオフ 5)セミナー 6)筆記試験正解発表 7)懇親会 8)成績発表・表彰式

【報道関係者からのお問い合わせ先】

日本酒造組合中央会PR事務局 担当:端山(はやま)、藤岡、戸田 TEL:03-6274-8386 MAIL:japansake@honeycom.co.jp